

2月19日、氷点下6度。北海道長沼町での野呂栄太郎碑前祭



No.369

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

戦後60年、不戦の誓い新たに 署名をひろめ、5月国会請願へ

二度と戦争を起すまいと誓った新憲法のもとで町や工場を復興させ、子らを育ててきた私たちの戦後60年。その労働と人権の果実が、再び戦争と市場争奪の犠牲に供されようとしています。
同盟の国賠署名は「9条の会」とともにアジア「不戦の誓い」を新たにす壮大なたたかいです。改憲許さぬ5月国会請願へ、全力をあげましょう。

この日、日本では全国各地で「自衛隊の撤退」「憲法9条守れ」の行動が広がろうとしています。
5月にニューヨークの国連本部で開かれるNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけて、廣島・長崎両市長はじめ日本非核宣言自治体協議会参加の市長らが、日本や核保有国大使館などに積極的役割を果たせと行動を起しています。ヨーロッパでは、アウシュビッツ旧強制収容所に各国首脳がつどい、不戦の誓いを新たにしました。
戦後60年。世界は平和的共存にむけて大きく踏み出しつつあるとき、日本の政府・与党は不戦の誓いどころか逆に「戦争する国」への改憲づくりに夢中です。かつてアジア諸国民二千万人の命を奪った日本への怒りと悲しみにいったいどうこたえようというのでしょうか。
3月20日、世界から孤立を深めるアメリカのイラク侵略から二年。この日、日本では全国各地で「自衛隊の撤退」「憲法9条守れ」の行動が広がろうとしています。

主 な 記 事

| | |
|--------------------------|---|
| 九条の会と結び三万署名達成へ(長野県) | 2 |
| 憲法改悪をめぐる動きについて/内藤功 | 3 |
| 長編記録映画「時代を撃て・多喜一」 | 4 |
| 顕彰碑/徳島の先駆者の慰霊碑 | 5 |
| 時の焦点/戦後60年 ドイツに学ぶ | 5 |
| 抵抗の群像/治安維持法違反で逮捕された父針谷武夫 | 6 |
| 同盟歌壇/碓田のぼる選 | 7 |
| 書棚/「戦争案内」高岩仁著 | 7 |
| 国連要請とヨーロッパ戦跡を訪ねる旅 | 7 |

九条の会と結び三万署名達成へ

―田中知事も支持・署名―

長野県

長野県の同盟は、憲法九条を守る闘いと、立ちおくれている国賠署名目標三万突破をめざし、全力をあげています。昨年五月に始まった憲法九条を守る運動は、今年に入り全県的の広がりを見せ、全国の先頭を切つて運動が進んでいます。信濃町では、町議会の自民党から共産党まで、全議員の賛同で、九条の会」が結成され、「九条守れ」の宣伝・講演など、啓蒙活動をすすめてつ、住民の過半数、県民の過半数めざして署名をやりぬくことを決め、町ぐるみの署名運動に発展しつつあります。

信濃町では、町議会の自民党から共産党まで、全議員の賛同で、九条の会」が結成され、「九条守れ」の宣伝・講演など、啓蒙活動をすすめてつ、住民の過半数、県民の過半数めざして署名をやりぬくことを決め、町ぐるみの署名運動に発展しつつあります。

県同盟の二月の三役会議では、九条守る大運動と結びつけて立てられている国賠署名運動に本腰を入れて取り組む決意を固めました。県同盟の五月国会請願にむけての自主目標は、個人署名三万、団体署名一千、同盟会員五〇〇人です。

二月中旬現在、個人署名は一万五千、団体署名は五百を突破しました。会員も増え始めましたが、死亡者もあり、拡大はこれからです。三役会議では支部ごとに五人、八人、十人と純増の目標を決めました。

国会請願まであと二カ月余り、県本部事務局では、協力団体に根拠強く何回でもお願いに上ることに努め、連合系労組からも四八筆

信濃町に続いて、すでに二十地域で「九条の会」が結成され、五〇を超える地域で「準備会」が立ちあげられました。

五月十日(火)11時～16時半
衆議院第一議員会館第一会議室

国会請願

五月十日(火)11時～16時半
衆議院第一議員会館第一会議室

同盟第32回全国大会

七月九日(土)～十日(日)
東京全労連会館ホール

の団体署名と三千筆を越す個人署名が寄せられました。

一方署名に取り組んでいる同盟会員はまだ一五％程度です。一〇〇％の会員に訴えつくすことが、これからの課題です。

二月始め、田中知事を加藤会長以下三役五人で訪問し、同盟活動への協力をお願いします。知事は「私も支持します。頑張つて下さい」と同盟を激励し、個人署名に快く応じてくれました。

長野県の同盟は、三、四月の短期間に必ず自主目標を達成する決意です。(米山)

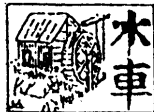
新入会員をふやす

香川県

本部では、昨年末、対象者九名をあげて入会を働きかけた結果、七名の新しい会員を迎えました。

岐卓県本部の活動推進ニュースに「岐阜支部の拡大目標十名」と書いてあり、これなら実現可能だと思ひ、県女性部長の荒川さんと連携して会員をふやし、女性七名、男性五名、計十二名の会員を拡大しました。

(宇野美代子)



大阪・寝屋川市の小学校での事件はあまりにも衝撃的だった。「なぜ、こんなひどいことを」、誰も

もが抱く疑問に、納得できる解答はまだ出ていない。気になるのは教育行政機関の対応だ。「防犯訓練。地域や警察との連携」(文科省)。「全校に警棒・催涙スプレー、さすまた配置」、「警察官が学校巡回」、「出入口のチェック、門扉の錠状況把握」等々。まさに、学校有事体制だ。TV放映の某小学校での「訓練」には驚いた。模造の刃物をふりかざす侵入者に子どもたちは悲鳴をあげて逃げ、侵入者はさすまたなどで取押えられる。「こわかった」と子ども感想。なぜか「教育の条理」を底に敷いた論調が聞こえてこない。「不登校」、「ひきこもり」、ケータイ・ネットに熱中、若者の無業者化の進行等の現象を日本社会の危機として、その根底に深く鋭いメスを入れようとする論がほとんどない。異様な「訓練」で子どもが逃げまわるシーンが私の脳裡から離れない。

(巽)

特別寄稿

(1) 憲法条文の改悪を、政治日程に上げてきているのが小泉自公政権下での危険な情勢です。早ければ二〇〇七年にも改憲発議と国民投票の機会を狙っているとみられます。

自民党は、今国会の四月下旬に予定される衆参各院の憲法調査会の最終報告書に、改憲意見が多数である旨記述させようとしています。さらに、「国民投票の手続法案」および同法案の審議の場を設ける「国会法改定案」を公明、民主の同調をえて提出しようとしています。

(2) 自民党憲法調査会は、昨年十一月十六日、憲法改正大綱原案(たたき台)を発表しました。全面的な改憲案であり、改憲勢力の最大限要求というべきです。その中核は、「自衛軍」の設置で、自衛軍は国際貢献の名の下に海外に出動し、武力行使ができる、治安のための行動もできる、軍事裁判所をつくる、国民には国防協力責務を負わせる、という重大な内容です。自衛軍関連の条文起案には、

陸幕防衛部の現役2等陸佐が関与しています。

現在、自民党「新憲法制定推進本部」(小泉純一郎本部長)は十の小委員会に分かれて試案の討議に入り、四月下旬にも、森喜朗起草委員長が試案を発表し、本年十一月に自民党結党五十年を期し改憲条文案を発表する日程を設定しています。民主党も競うように改憲案を発表するとしています。

(3) このような改憲の急な動きの背景には、世界的な米軍の変革再編と、これと一体をなす、自衛隊の海外派兵軍への変質の動きがあります。この三つが同時に進行しています。ブッシュ政権は、日本を世界的戦略展開の拠点にするため、沖縄、座間、横田、富士、矢臼別等の米軍基地の再編強化と、日本軍隊を常時米軍指揮の下に一体的行動をとっている軍隊にすることを策し、二月二十日の日米政府の共同発表にみるように、日米共通の戦略目標を宣言するに至っています。

憲法改悪をめぐる動きについて

内藤 功

(4) 改憲を急ぐ狙いは、判りやすくなっています。これが国民の中に知れ渡れば、改憲に賛成する人はいないはずですが、そこを衝かれることが改憲勢力にとつて最大の弱点です。

「九条の会」ができ、二月二十五日横浜で行なわれた集会にみるように、全国各地、各界、各分野・団体で、重大な関心と真剣な論議と創意ある運動がおきています。勢いをさらにつけて、両院の三分の二の改憲発議を阻止し、万

一発議されたとしても国民投票で否決し去る、国会外の運動の力量を大きくする必要があります。とりわけ憲法九条を守る運動と核兵器廃絶の運動を結びつけて、大きなエネルギーをつくりだすことは大事です。

(5) 国民投票を待つまでもなく、進んで、憲法を「武器」に闘つこと。国民投票を見通すとともに、「守り」にとどまらず、「攻め」の闘いとする。逆に二十一世紀の日本の政治、外交、裁判、国

民生活、営業を、憲法を背景として活性化する、壮大な運動の「始まり」にすること。

今の情勢は、一九三一年中国侵略や五〇年朝鮮戦争直前の情勢との類似点もありますが、世界の大勢をみれば、あの当時とは決定的に違う有利な情勢があります。治安維持法と侵略戦争の貴重な教訓を語るとともに、現憲法を抛り所に六十年闘いぬいた体験を活かし、力を尽くしたいと思えます。(日本平和委員会代表理事・弁護士)・〇五・二・二八記

「九条の会」

各地で盛況

「九条の会」の呼びかけに呼応する各地の集会がどこでも盛況です。二月二十五日に横浜市で開かれた「九条の会」をきく県民のつどい」には五千人が詰めかけました。

同盟は五月十日の国会請願にむけて国賠署名の推進に力を入れています。各地の「九条の会」集会の成功でも「憲法署名」と「国賠署名」を結びつけて相乗的な成果をあげています。

長編記録映画

「ときを撃つ」時代を撃て・多喜二

上映運動、好調スタート

いまに甦る多喜二!

小林多喜二を描く初めてのドキュメンタリー映画「時代を撃て・多喜二」(池田博穂監督)が完成して二カ月、試写会を経て全国上映運動が好調なスタートを切りました。同盟は全国理事会で推薦を決め、上映普及に協力しています。

あらすじ

トップシーンは、なんと無声映画・阪東妻三郎主演のチャンバラ



場面で始まります。いまから八十年前、無声映画全盛のころの時代背景を印象深く感じさせます。

場面は一転、三・一五

のいっせい検挙、拷問の映像。そして力強く、小説『一九二八年三月十五日』の朗読が始まります。

多喜二の生い立ち、文

学をこころざし次第に社会正義に目覚めていく多感な青年時代の足跡を、ニュースフィルム、写真資料、そして識者のインタビューを重ね合わせながら説明していきます。

多喜二の両親、兄弟のこと、そして田口タキと



小樽・多喜二墓前祭のシーン

の運命的出会い。治安維持法に反対し、右翼の暴徒に刺殺された山宣の葬送場面が、プロキノの映像で映し出されます。

不朽の名作『蟹工船』の伏字だらけのページ、映画『蟹工船』のモニタージュを通じて、多喜二が描こうとした資本と軍隊の本質が浮き彫りにされます。

『不在地主』を執筆して銀行を追われ、上京した多喜二は本格的な作家活動へ。不敬罪で豊多摩刑務所に収監され、獄中から田口タキあてに書いた手紙、母・セキから差し入れられた「こごつ」の布団の話が感動的です。

出獄した多喜二はタキに結婚を申し入れますが断られます。神奈

川の七沢温泉に逗留し、投獄とタキに結婚を断られた傷心を癒しながら『オルグ』を執筆します。

満州事変勃発、共産党入党、志賀直哉との交流：強まる弾圧のなかで地下活動へ。そしてついにスパイの手引きで逮捕、拷問により二十九歳で命を断たれます。

俳優・田村高廣は「父・阪東妻三郎が多喜二の影響をうけ、貧しい人々の怒りを演じ続けてきた」ことを情熱的に語り、また少女時代の隣人上山初子さんが「どうして多喜二さんを殺した人たちは罰せられないんでしょうか」と静かに語りかけ、観る人に深い感動を与えます。(35ミリ、カラー、上演時間一時間二十八分)

上映運動は北海道、東京、神奈川県をはじめ各地で始まっています。上映についての問い合わせは、〒102 0074 東京都千代田区九段南4 6 1 九段シルバークロス904 「時代を撃て・多喜二」製作委員会
☎・F03 52212 1383
なお、同製作委員会は協賛金の募金を訴えています。

顕彰碑

徳島

徳島の先駆者の慰霊碑

「青葉の碑」

徳島市の眉山山麓にある徳島霊園の一角に「青葉の碑」があります。

東京・青山の「解放運動無名戦士の墓」にならって、徳島にも、

志なかばでたおれた人たちを顕彰するお墓を作ろうとの声が出されたのが一九七〇年代の半ば。日本国民救援会徳島県本部から用地と

碑の提供があり、実行委員や支援者などのカンパ活動によって実現の運びとなりました。

第一回の合葬追悼会は、一九七八年五月十四日に盛大に開催されました。以来、毎年五月中旬の日曜日に、碑前で第一部「青葉の碑

合葬追悼」の式典が催され、式後会場を移して、第二部「青葉の会」(遺族会)懇親会が行われました。

碑の名称「青葉の碑」とは、第一回が青葉の時期に開催されたことと併せて「志なかばでたおれようとも、解放運動の志は、いつも、いつまでも青葉のように生命力にあふれ、ひきつがれていく」という意味をこめてつけられたものです。

「青葉の会」は、青葉の碑遺族会のこと、毎年この懇親会を、

青葉の「法事」と位置つけて、故人の業績を讃え、偲び、あわせて、その遺志をうけついでいくことを再確認する場でもありません。

なお、合葬者のお名前は、碑の両側の石板に全員刻まれています。運動のひろがりと共に、年々、合葬者の数が増えるので石板を置く場所がなくなるのが、只今、実行委員会のなやみの種となっています。

(大栗丸人)



時の焦点

二〇〇五年を迎えて早くもヨーロッパでは、「アウシュビッツ解放六〇周年記念集会」が国連主催で開かれました。考えてみれば当然なのですが、おなじ侵略国で敗戦国の日本の状況とは雲泥の落差、縣隔を思い知らされました。

六〇カ国一億人の兵士が銃火を交えた第二次世界大戦、多くの市民をまきこんで五千万人の命が奪われました。敗戦四〇周年の時の西ドイツ大統領ワイツゼッカー

の「過去の歴史を直視しよう」というものは、結局現在が見えなくなる」との侵略と大量殺りくに対する明確な反省は有名ですが、今日のドイツ首相シュレーダー

の歴史認識も貴重です。「われわれは今日、ドイツにおいてナチスの暴力支配に対して抵抗をおこなった勇敢な人びとを想起する。六〇年前の今日、ヒトラー政権を打倒しようとした人びとは、そのため命を捧げることになった。彼らは一九四四年七月二十日の夜、ベン

ドラープロックの中庭に殺害されたり、軍事裁判後処刑された。しかしわれわれは、暴力支配に対する

戦後60年ドイツに学ぶ

抵抗は一九四四年になってからはじまったわけではないことを知っている。独裁に対する抵抗は、ナチスが権力を奪取した一九三三年にすでに始まった。社会民主主義者、中産階級の知識人、共産主義者、著名なクリスチャンそして「まともな」ドイツ人でありたいと思

っただけの多くの個人が抵抗をおこなった。とはいえ、ナチズムの全体主義社会にあっては幅の広い愛国的国民抵抗運動は成立しようがなかった。

それは、二〇世紀ドイツ史の決して完了することのない大きな探求課題の一つであり、われわれはたえず問うていく必要がある。」(二〇〇四年七月二〇日、「ヒトラー暗殺計画」六〇周年式典記念演説)

一九三三年といえは、日本では小林多喜二が虐殺され、野呂栄太郎や宮本顕治らが逮捕された時期。歴史の必然を知らされます。

今日依然安保体制強化や「戦争憲法」への改憲策動など、とかく閉そく状況の日本にくらべ、ヨーロッパはじめ世界は、「平和・人権・文明」の光りかがやく二一世紀めざし力つよく前進しています。

(元)

抵抗の群像

治安維持法違反で
逮捕された父針谷武夫

針谷 宏一

父針谷武夫は、一九二二(明治45)年二月二十六日茨城県猿島郡古河町の糸爾仲買商の五男として生まれました。幼い頃は何不自由なく暮らし、自分で希望した栃木中学にも入学しました。中学時代、兄の影響もあつていろいろな本を読むようになり、漱石や啄木は父の生き方に大きな影響を与えました。父は、そのときのことを「それは当時読んだ文学・哲学・経済・政治・思想・宗教などの追求や知人、友人との付き合い、話し合い、生活を取り巻く環境、社会進歩などの影響と結びついて共産主義とはどんなものか知りたいと思うようになつていった」と語っています。

一九三二(昭和6)年法政大学に入学し、まもなく法政に日本共産青年同盟があることを知ってR・

S(非法法の社会主義研究会)に入り、赤旗を読み、学生自治会や学生消費組合、反帝同盟、モップルなどの活動から法政の共青キヤップになり日本共産党に入党しました。しかし、三・一五、四・一六の弾圧は、学生の中で活動も困難で、いかに警察の追及を逃れるか、生活資金を確保するかに追われる毎日だったようです。

学生時代の最後の活動は、岩田義道の労農葬へのとりくみであったようです。十二月四日、岩田義道労農葬を前に十一月二十九日、法政学内の最後の実行委員会を開きました。一人だけ連絡が取れずだったので、いつもの連絡線に二人で出かけました。後でわかったことですが、連絡が取れなかった一人が動揺し、自首して全部警察に話したので、連絡線に現れ

るのを待ち伏せされ逮捕されたのです。そこは法政の裏から一口坂の都電停留所までの道で、靖国神社の横の人が一人通るのがやっとという細い一本道でした。そこを二人で上がつていくと、前後から四、五人ずつ男達がよつてきて、私服かなと思つたときは両腕を掴まれていました。「君達は学生か?」「どこに行くのかね」と問いつめられて、「法政の学生だ」「神田の古本屋まで行くところだ」と応えたが、彼らは「君らが誰か」「何をしているのか良くわかつてい

激しさを増していき、何度も意識を失いました。留置されたときは一つの房に六人だったのが、岩田義道労農葬が行われた十二月四日には十二人にもなつていました。父は七月二十六日に治安維持法違反で起訴され、一九三四(昭和9)年四月ごろ判決で懲役二年、一九三六年二月十日釈放まで市ヶ谷刑務所、小菅刑務所、宇都宮刑務所と移されています。刑務所では仏教やキリスト教の本を読み勉強していたようです。

父は出獄にあたり、「出たらまた共産党の活動をやるのか」と問われ「やりません」と答え、現に戦後再入党するまで何もしなかったことを、自分自身で許されない汚点と考えていたようでした。

その後は、満州にいた知人の紹介で吉林鉄道局に就職し、母(静子)と結婚、四人の子供が産まれ、日本の敗戦により一九四六年六月に親子六人で帰国。

父は一九四六年八月、日本共産党に再入党し茨城県委員長、栃木県委員長、関東地方委員会、中央本部などで活動。一九九九(平成11)年三月一四日死去。

いま私も父の志を継ぎ、同盟本部で活動しています。

同盟歌壇

碓田のぼる選

埼玉県 寺島 清文

門松も豆撒きもすたれし国となりバレンタインデーの宣伝あふれる
どこからも声は聞こえず老二人「鬼は外」と呟きながら豆を抛りぬ

〔評〕二首ともに、日本の昔からのしきたりがすたれ、アメリカカ
流の流行が大手をふっていることへの危懼を歌っている。古きよ
きものへの認識もなくて、ただ新しいものへと流れる世相の断面

東京都 若林 義文

六十年の党歴となり傘寿過ぐ吾れを励ます「侘助」の客
鎌倉にペンクラブあり「侘助」の常連たちに会員多く

〔評〕「侘助」とは晩酌に出かける駅前のお店である。一首目はそ
こでの人間的なあなたかなふれあいを歌う。後歌に関連して、「ペ
ンクラブに入会をせし幸せぞ井上ひさしに九条の会」あり。

鳥取県 大久保禮吉

受くる賀状差し出す賀状に漲れり「改憲許さじ」新たな決意

〔評〕今年の年賀状に示された、われわれともに抱いた新たな決
意のことを歌っている。改憲を許さずとする思いがこめられている。

静岡県 江川 佐一

掌てのひらや五本の指を知らざりき父を詠いしひろみさん逝く

〔評〕この歌の上句の主人公が、ひろみさんなのか、その父親な
のか、いま一步はつきりするとよい歌になるように思う。

東京都 山崎 元

二十五年母に五十年妻に感謝ひそかに懺悔の思いにも似て

〔評〕上句は音の句切れと意味の区切れがややズレるが、下句に
複雑な心を表現している。「ひそかに」深い所での思いである。

書棚

『戦争案内』

—映画製作現場・アジアからの報告—高岩 仁 著

一〇〇〇円十送料

この本は、映画「教えられなかつた戦争」シリーズの製作取材現場のなかでいろいろと見えてきたことのレポートである。太平洋戦争における日本軍の残虐行為の告発だけではなく、「誰が戦争を起すのか?」「だれが戦争を必要とするのか?」の視点で、明治以来今日に至るまでの侵略の社会構造を詳細な資料の裏づけのもとに見事に告発している。

日本は、日清・日露・第一次世界大戦と十年毎に戦争をしてきた。そしてその都度財閥がいかに儲かったかが統計数字で如実に示されている。

一九三一年『三月事件』、『一〇月事件』、『三二年』、『五・一五事件』、『三六年』、『二・二六事件』と次々に起こった事件に巨額の資金を財界が提供していることを指摘している。著者は「たとえクーデター資金に今の金に換算して五〇億や一〇〇億円を出したとしても、戦争で植民地を獲得すれば直ちに何倍にもなる。これこそが戦争の本質

であり、根本原因だとおもいます。日本の今までの歴史教科書から始まって、歴史小説、テレビ番組などすべて二・二六事件については、青年将校と右翼の思想家だけしか登場しません。二・二六事件を必要として、計画して、お金を出して、そして最終的に目的を達成した張本人の資本家・企業家たちのことが何も語られないで、私たちは歴史を正しく理解していると言えるのでしょうか」と述べている。

今の日本の政府開発援助ODAのからくりをとおしてアジアに対する経済侵略の実態も告発している。

その他天皇と戦争とのかわり、現在の外務省およびマスコミの体質などなど戦前と全く変わっていない日本の支配体制を告発しており、読みやすく内容豊富な本である。(倉)

注文先 映像文化協会

横浜市青葉区桜台四 四八

☎・〇四五 九八一 〇八三四

F・〇四五 九八一 〇九一三

第9回 国連ツアー日程

| 月 日 | Aコース | Bコース |
|---------|----------------|------------------|
| 8月3日(水) | 東京成田空港発 | ジュネーブ着 |
| 4日(木) | ジュネーブ | 国連要請行動 |
| 5日(金) | 夜「ジャパン・デー」 | |
| 6日(土) | ジュネーブ発 クラブ泊 | ジュネーブ発 ローザンヌ泊 |
| 7日(日) | ヴロツワフ泊 | ローザンヌ泊 |
| 8日(月) | ドレスデン泊 | ジュネーブ泊 |
| 9日(火) | ドレスデン泊 | ジュネーブ発 |
| 10日(水) | ベルリン泊 | 成田着 |
| 11日(木) | ベルリン泊 | |
| 12日(金) | ベルリン発 | |
| 13日(土) | 成田着 | |

お申し込み、資料請求は
 富士国際旅行会社営業部 小野寺研一
 TEL 03 3357 3377
 FAX 03 3357 3317

国連要請とヨーロッパ戦跡を訪ねる旅

日程きまる

同盟秋田県本部は二月二十三日、秋田市で女性会員など二十一名が参加し女性部を結成しました。会議では、安藤真一県本部事務局長が「情勢と同盟運動の任務」、地主あや子県本部副会長が「全国女性交流集会の報告」をしました。報告で安藤氏が日米安全保障協議委共同発表にふれ、これは日本国憲法が絶対に許さないものであり、憲法9条擁護と結びつけて日米両政府の企てに反対しようと呼ぶ。申し合わせを確認。役員に

不屈に闘った女性の歴史に光を 同盟秋田県本部で女性部結成

「戦争への動きにばかりでした。」「戦後としてはいられない。」「戦前、反戦平和、婦人参政権の旗を掲げてたかった女性たちの歴史をいまこそ女性のなかに広げるときだなどの意見がだされました。会議には、同盟県本部女性部結成の提案がおこなわれ、「不屈に闘った女性たちの歴史に光をあて、そこから今日の闘いの知恵と勇気と力を引き出し、女性のなかにひろめていきます」など六項目

事務局日誌

は地主あや子会長のほか八名の委員を選出し、県内八支部に女性部確立をめざして活動を具体化することにしました。

- 2月25日 国際女性デー実行委員会へ参加
- 2月25日 都女性部主催「春を呼ぶつどい」へ参加
- 2月23日 年実行委員会へ参加
- 2月22日 伊藤千代子生誕一〇〇都本部理事会へ参加
- 2月22日 国代表者会議へ参加
- 2月19日 安破棄実行委員会全
- 2月18日 足立区多喜二祭へ参加
- 2月16日 ゼロホール)
- 2月15日 多喜二祭へ参加(中野
- 2月14日 「不屈」編集会議
- 2月14日 「おかしいぞ警察・検察裁判所」集会へ参加
- 2月12日 思想・良心・表現の自由シンポに参加
- 2月12日 「時代を撃て・多喜二」試写会参加
- 2月11日 建国記念の日反対集会に参加
- 2月4日 東北アジアの地域会議記念シンポへ参加

●学習のテキストに、女性部運動の発展の糧に！

第15回 全国女性交流集会報告集



本号のメインは根本孔衛弁護士の講演『治安維持法を歴史と国際的視点から考える』 悪法・治安維持法の生い立ちから暴虐の限りをつくした運用、侵略戦争への突入、戦後冷戦下の戦後処理と現在進行している裁判闘争までを詳述。同盟運動の理念を学ぶ最適の教材。犠牲者の証言と遺族の発言、各地の女性部運動の報告・討論を収録。

B5版・114頁、定価1000円、各県本部でお求めください。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟女性部